

2024年3月14日
西日本旅客鉄道株式会社

～駅のホームの安全性向上にむけて～

大阪環状線・JRゆめ咲線においてホームと車両の段差・隙間縮小を展開していきます。

JR西日本では、より安全に安心して鉄道をご利用いただけるよう、駅のホームにおける安全性向上を重要な経営課題ととらえ、ハード・ソフトの両面からさまざまな取組みを進めております。2023年4月1日から京阪神地区の整備対象エリアにおいて、鉄道駅バリアフリー料金制度を活用し、お客様のご理解とご協力をいただきながら、バリアフリー設備の整備を進めております。

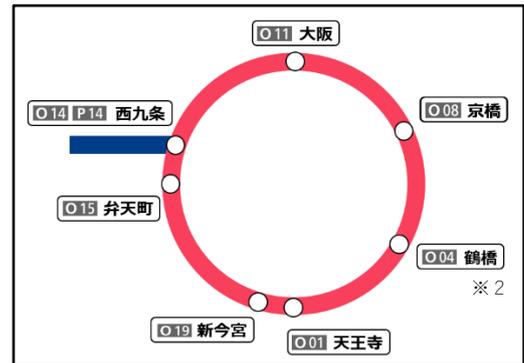
大阪環状線・JRゆめ咲線の一部の駅において、ホームの“かさあげ”と“くし状ゴム”を整備することでホームと車両の段差・隙間縮小を行い、ご利用しやすい環境を整備いたします。

ホームと車両の段差・隙間縮小の整備計画

2025年度末時点で6駅14番のりばにホームと車両の段差・隙間縮小の整備を目指します。

○整備計画

駅名	番線	使用開始時期 ^{※1}
京橋駅	3・4	2024年3月中
大阪駅	1・2	
新今宮駅	1・4	2024年前半
西九条駅	1～4	2024年度中 ^{※3}
弁天町駅	1・2	
天王寺駅	11・14	2025年度中 ^{※3}



※1 使用開始時期は、工事の進捗状況により変更することがあります。決まり次第、ホームページ等にてお知らせいたします。

※2 鶴橋駅1・2番線はすでに整備済です。

※3 ホーム柵設置に合わせ整備する予定です。

○対象車種：323系（主に普通列車）を対象に段差3cm、隙間7cmを目指します。

○ドア位置：1号車3番ドア、5号車・8号車の1番ドアに整備を行います。



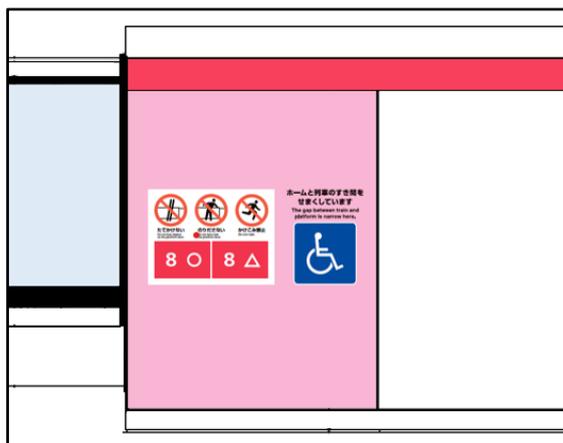
[凡例] 1 …車両番号 □ …ドア位置 ▲ …段差・隙間縮小箇所

○設置イメージ

【くし状ゴム】



【対象ドア位置の案内表示案】



[参考]

※鉄道駅バリアフリー料金制度を活用したバリアフリー設備の整備

(2022年8月19日ニュースリリース)

https://www.westjr.co.jp/press/article/2022/08/page_20617.html

今回ご案内の取り組みは、SDGsの17のゴールのうち、特に9番、10番、11番に貢献するものと考えています。

JR | **SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

JR西日本グループは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

